

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 10155192
PUBLICATION DATE : 09-06-98

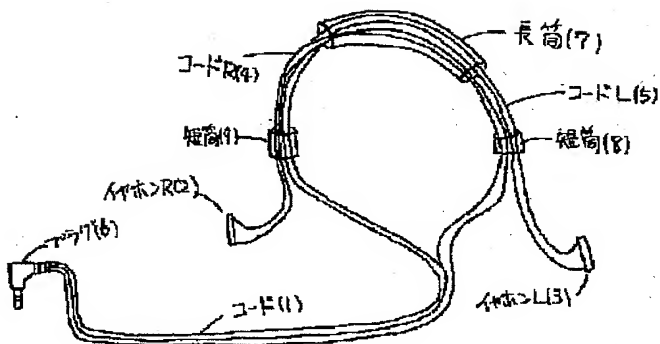
APPLICATION DATE : 22-11-96
APPLICATION NUMBER : 08351760

APPLICANT : WADA KENJI;

INVENTOR : WADA KENJI;

INT.CL. : H04R 1/10

TITLE : NECK HANGING STEREO EARPHONE



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a neck hanging stereo earphone easily in use in which a cord for an earphone R and a cord for an earphone L are wound in crossing through a long tube so as to be reached to the earphone through a movable short tube.

SOLUTION: A cord R4 for an earphone R2 and a cord L5 for an earphone L3 are wound in crossing, a long tube 7 is provided through the crossing part and short tubes 8, 9 are provided through both sides. The entire earphone is hung through a head so as to allow part of the long tube 7 to come around behind the neck. Thus, even when a cord 1 is stretched, the earphone does not come off from the ears and even when music listening is tentatively stopped, the earphone set is easily left hung around the neck. When the earphone set is not in use, the short tubes 8, 9 are approached up to roots of the earphones 2, 3 to prevent the earphones 2, 3 from swinging and the cords from being tangled to provide convenience for carrying.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-155192

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月9日

(51) Int.Cl.⁶

H04R 1/10

識別記号

104

F I

H04R 1/10

104 E

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平8-351760

(22) 出願日

平成8年(1996)11月22日

(71) 出願人 596099778

和田 健志

兵庫県神戸市長田区東尻池町2丁目10番1号

(72) 発明者 和田 健志

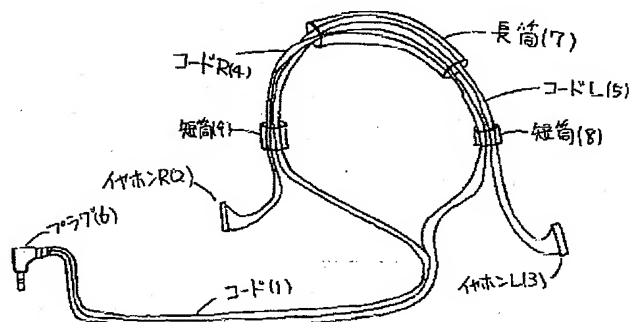
兵庫県神戸市長田区東尻池町2丁目10番1号

(54) 【発明の名称】 首かけ型ステレオイヤホン

(57) 【要約】

【目的】コード(1)を引っぱっても、耳からイヤホンがはずれることもなく使用が簡単にできて、未使用時にもコードがからまりにくいステレオイヤホンを提供する。

【構成】イヤホンR(2)のコードR(4)とイヤホンL(3)のコードL(5)を交差するようにまわし可動する短筒(8)、短筒(9)をコードR(4)、コードL(5)に設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 イヤホンR(2)のコードR(4)とイヤホンL(3)のコードL(5)を交差するようにまわし可動する短筒(8)、短筒(9)をコードR(4)、コードL(5)に設けたことを特徴とした首かけ型ステレオイヤホン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、テープレコーダーで音楽を聴くときに取り付けて使用するステレオイヤホン二関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、テープレコーダーに取り付けて使用するステレオイヤホンがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

(イ) イヤホンのコードが引っぱられたとき、容易にイヤホンがはずれやすかった。

(ロ) 音楽を聴きくことをやめたとき、そのままイヤホンを首にかけておくことが難しかった。

(ハ) 左右のイヤホンのコードがからまりやすかった。

【0004】

【課題を解決するための手段】イヤホンR(2)のコードR(4)とイヤホンL(3)のコードL(5)を交差するようにまわし可動する短筒(8)、短筒(9)をコードR(4)、コードL(5)に設けたことを特徴とした首かけ型ステレオイヤホン。

【0005】

【作用】長筒(7)の部分が首の後ろのあたるように首かけ型ステレオイヤホンを頭からかぶり首にかける。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

(イ) イヤホンR(2)のコードR(4)とイヤホンL(3)のコードL(5)を交差させ、交差した部分に長筒(7)とその長筒(7)の両側に短筒(8)、短筒(9)を設ける。

(ロ) 短筒(8)、短筒(9)は、イヤホンR(2)、イヤホン(3)の根元から長筒(7)の両端にぶつかるまで、コードを2本束ねながら移動する。これにより、使用時芳、図2に示すようにイヤホンR(2)を右手に、イヤホンLを(3)を左手にもって両手を左右にひろげることによって、短筒(8)、短筒(9)が長筒(7)に近づき耳にイヤホンをつけることができる。また、未使用時には、短筒(8)を左手、短筒(9)を右手にもち下げることによって、イヤホンR(2)、イヤホンL(3)がぶらつかないようにできる。

【0007】

【発明の効果】コード(1)を引っぱっても、耳からイヤホンがはずれることもなく使用が簡単にできて、未使用時にもコードがからまりにくい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図

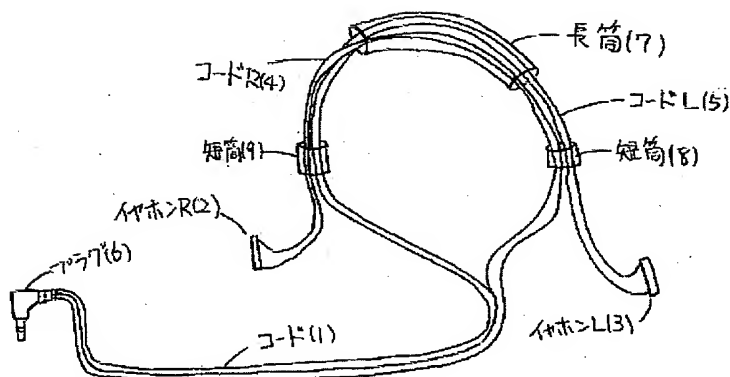
【図2】本発明の使用時の斜視図

【図3】本発明の未使用時の斜視図

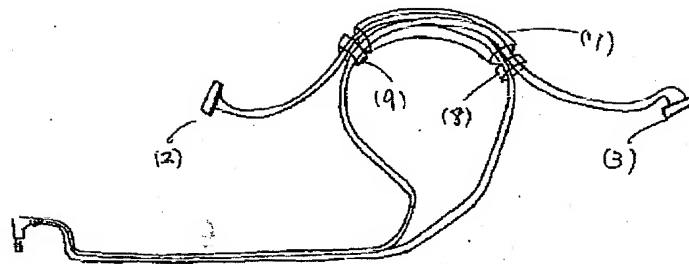
【符号の説明】

- 1 コード
- 2 イヤホンR(右)
- 3 イヤホンL(左)
- 4 コードR(右)
- 5 コードL(左)
- 6 プラグ
- 7 長筒
- 8 短筒
- 9 短筒

【図1】



【図2】



【図3】

